

第 22 回 民 族 藝 術 学 会 大 会 プ ロ グ ラ ム			
	10:00	受付開始	
	10:30-11:20	理事会	302教室
	11:20-12:00	評議員会	302教室
五 月 二 七 日 土 曜 日	13:00-13:20	開会挨拶 大会実行委員長 板谷 徹 沖縄県立芸術大学学長 朝岡康二	大講義室
	13:20-15:50	一般発表	大講義室
	13:20-13:50	「『灰かぶり』考-中世陶器を解釈する-」 泉滋三郎 (陶器)	
	13:50-14:20	「神楽の建設」 三村泰臣 (宗教)	
	14:20-14:50	「版画から『木刻画』へ-木刻運動と魯迅の版画観-」 山中夕起子 (芸術学)	
	14:50-15:20	「鉄道が運ぶローカル神-南インド・ケーララ州の儀礼パフォーマンスの事例から」 竹村嘉晃 (民族舞踊)	
	15:20-15:50	「バリ島のワヤン人形の手-上演におけるその役割と表現」 梅田英春 (音楽)	
	15:50-16:00	休憩	
	16:00-18:00	テーマ関連発表	
	16:00-16:30	「左官と民族藝術-沖縄の漆喰シーサーを中心に-」 國吉房次 (工芸)	
	16:30-17:00	「第二次世界大戦後の琉球紅型像-“紅型復興期”知念績弘・城間栄喜とその弟子達が目指した美の表現と試み-」 児玉絵里子 (工芸)	
	17:00-17:30	「表象の沖縄-戦前期来沖画家の作品を通して-」 小林純子 (美術)	
	17:30-18:00	「照屋勇賢の紅型」 乾淑子 (芸術学)	
		18:00-18:05	休憩
	18:05-18:25	総会	大講義室
	18:35-20:30	懇親会	秀月
五 月 二 八 日 日 曜 日	9:30	受付開始	
	10:00-12:00	講演と見学《首里城とその文化》	首里城
	10:00-11:00	講演「首里城と首里城文化」 池宮正治 (琉球大学名誉教授)	
	11:00-12:00	見学 (今回の見学では一般入場者の入れない個所も見学できます)	
	12:10-13:00	昼食	301教室
	13:00-16:30	シンポジウム《沖縄の民族藝術とエキゾティシズム》	大講義室
	13:10-14:50	事例報告	
	13:10-13:30	「歌舞団と沖縄イメージ」 大城ナミ (舞踊)	
	13:30-13:50	「戦後アメリカ人向けに作られた琉球漆器について」 岡本亜紀 (浦添市美術館)	
	13:50-14:10	「琉球古典焼の成立-エキゾティシズムをまとう壺屋焼」 倉成多郎 (那覇市立壺屋焼博物館)	
14:10-14:30	「鎌倉芳太郎の琉球工芸観」 久貝典子 (沖縄県立芸術大学)		
14:30-14:50	「流行歌にみる南島エキゾティシズム」 久万田晋 (沖縄県立芸術大学)		
	14:50-15:00	休憩	
	15:00-16:30	ディスカッション パネリスト 大橋 力 (芸能) 小林純子 (美術) 梅田英春 (音楽) 司会 板谷 徹 (舞踊)	
	16:30	閉会挨拶 民族藝術学会会長 木村重信	